

取扱説明書

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。



保証書別添付

技術基準適合証明品

上手に使って上手に節約

このたびは、ユニペックスツーピース型ワイヤレスマイクロホンをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

概要

- 本機は、ツーピース型ワイヤレスマイクロホンです。
- PLLシンセサイザー方式の採用により、送信周波数の設定ができます。
- コンピュータ雑音、調光コントロール雑音および都市雑音などの影響を受けにくい800MHz帯を採用しています。
- 単三乾電池1本で連続約10時間使用できます。
- ネックホルダを使用することにより、マイクを口元に近接でき、ハウリングをおきにくくすることができます。
- 電源は単三乾電池と、別売の充電電池パックによる充電式の2通りで使用できます。
- 抗菌樹脂を採用しています。

使用上のご注意

技術基準適合証明ラベルについて

本機は、電波法で規定される技術基準適合証明品です。
機器一台一台にその証明番号（証明ラベル）が貼ってあります。
みだりに剝がしたり損傷の無いようご使用願います。

違法改造の禁止

本機を分解したり、内部の部品にさわったりしないでください。
改造することは法律で禁じられています。



取り扱い

床に落としたり、物に当てたりしないでください。



水は禁物

水にぬれた場合はすぐに電源スイッチを切り、乾いた布でふいてください。



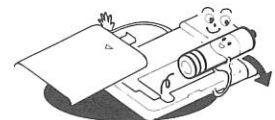
置かないで

アンプの上や夏の閉めきった車の中のような温度の高い所や湿度の高い所には置かないでください。



使用後

電源スイッチを切ります。
また、長時間（2週間以上）使用しないときは、乾電池を取り出してください。



乾電池は正しく使って

乾電池は使いかたを誤ると、電池の液もれで商品が腐食したり、電池が破裂する恐れがあります。充電、ショート、分解、加熱したり、火の中へ投入したりしないでください。



＜当商品はBH所有品です＞

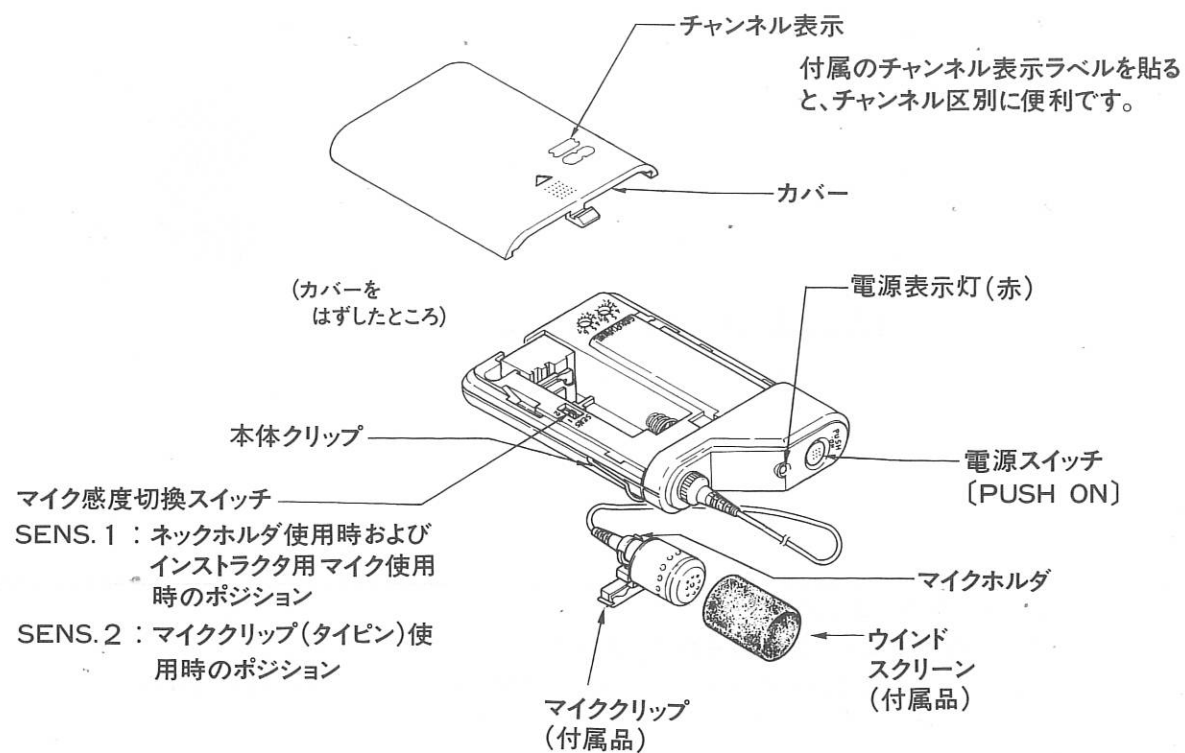


レンタル事業
イベントプロデュース
マリンスポーツ

仙台市若林区六丁目南町8の5

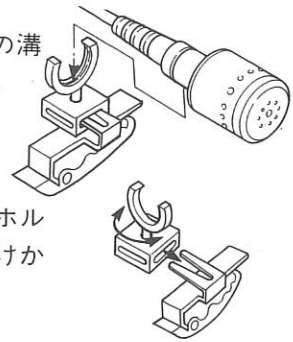
仙台商管 022(288)0505

各部の名前と働き



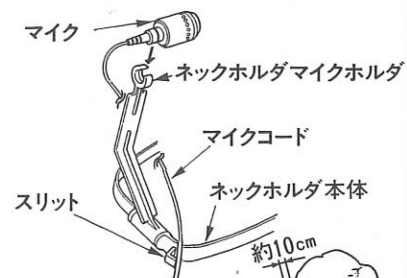
マイククリップの取り付けかた

- 1 マイククリップをマイクの溝に合わせて差し込みます。
- 2 マイククリップのマイクホルダは、衣服に合わせてつけかえることができます。

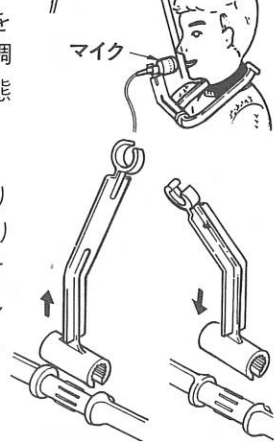


ネックホルダの取り付けかた

- 1 マイクの取付
(1) マイクの溝をネックホルダマイクホルダのマイク取付部に合わせて差し込み、
(2) マイクコードをネックセット本体のスリットにはさみます。



- 2 マイク位置の変更
ネックホルダマイクホルダを回転させ、マイクの位置を調整します。(電源を切った状態で行ってください。)
- 3 マイク取付方向の変更
本体は、マイクを左側に取り付けるように組み立ててあります。マイクを右側に取り付けたい場合には、ネックホルダマイクホルダを取りはずし逆向きに取り付けます。



上手な使いかた

マイクと口との距離

- ネックホルダ使用時
約10cmに設定します。
- マイククリップ使用時
マイク部は、マイククリップでネクタイや襟などに止めてください。止める位置はできるだけ口もとに近い方が、より明瞭な音質が得られます。

ハウリングについて

本機は高性能の単一指向性マイクを使用しており、ハウリングがおきにくい設計になっていますが、せまい室内でしかもスピーカの近くで使用した場合にはハウリングをおこすことがあります。その場合は受信機のボリュームをしぼるか、マイクの使用位置を移動してください。

本体クリップについて

本体クリップに、金属物が触れると、ノイズが発生することがありますので、ご注意ください。

雑音のない、きれいな音で聞くには

- 雑音が入る場合は、ワイヤレスアンテナに近づけてご使用ください。そのときの距離は2~10mにしてください。
- 受信機やワイヤレスアンテナはデジタル機器や高周波雑音のでる機器などからできるだけ離して設置してください。(5m以上)

本体の収納について

本体はズボンのポケットなどに入れてご使用ください。ポケットに金属物などが入っていると、電波が弱くなり、雑音が発生することがありますのでご注意ください。

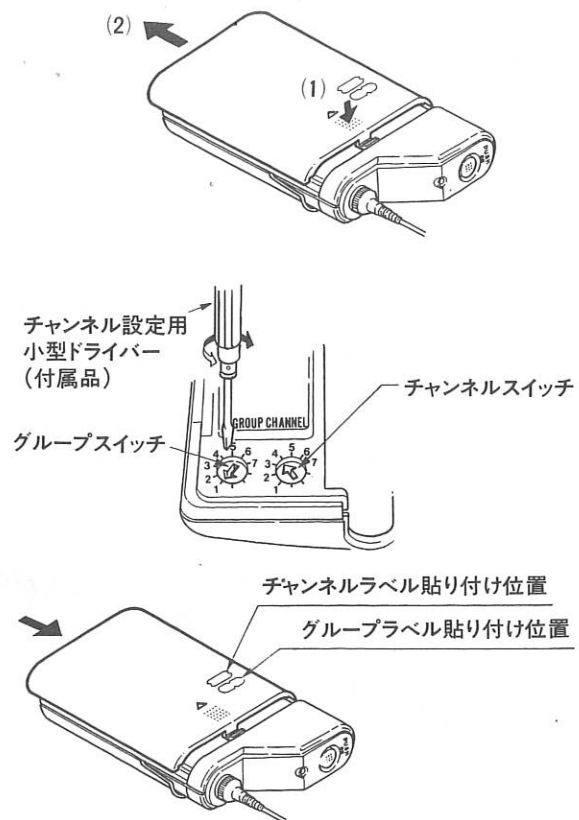
マイクどうしは、50cm以上離してください。

周波数設定のしかた

- 受信機とマイクは、同じ周波数に設定してください。
- 同時に使用するマイクは、全て同じグループにして、全て違うチャンネルにしてください。

■周波数設定のしかた

- ①電源スイッチを切ります。
(電源スイッチがON状態のまま周波数設定を切り換えても、周波数設定は変わりません)
- ②電池ケースのふたを開きます。
(1)電池ケースの『PUSH』部を押しながら、
(2)矢印方向に引いてください。
- ③グループ設定スイッチの「↑」を受信機のグループと同じ数字に、付属のチャンネル設定用小型ドライバーで合わせます。
- ④チャンネル設定スイッチの「↑」を受信機のチャンネルと同じ数字に付属のチャンネル設定用小型ドライバーで合わせます。
- ⑤電池ケースのふたを元通りにします。
 - 電池ケースのふたを矢印方向に、「カチッ」と音がするまで押してください。
 - 付属のチャンネル表示ラベルを指定の位置に貼ると、グループ/チャンネルの区別に便利です。



■グループについて

- ①同一場所で、マイクを同時に使用する場合は、1システム単独使用にしてください。
 - 1つのグループに統一して使います。
 - グループ1~4の中から1つ選んでシステムを組めば、最大6波まで使えます。
 - グループ5は5波、グループ6は1波使えます。
- ②グループ7はグループ1~6の中から選定された周波数で構成されており、次の条件下で十分に注意して使用したときは、7波の組み合わせも可能となります。
 - ワイヤレスマイク間を50cm以上離す。
 - ワイヤレスマイクと受信機間およびワイヤレスマイクとアンテナ間を2m以上離す。
 - 隣り合った部屋ではワイヤレスマイクを使用しない。

ご注意

送信周波数表(7ページ)にないグループ・チャンネルに設定して電源スイッチを「ON」にすると、電源表示灯は早い点滅をし、送信できません。そのままの状態にしますと、乾電池は消耗します。

乾電池の交換・確認について

※必ず電源スイッチを切ってください。

1 電池ケースのふたを開きます。

- (1)電池ケースの『PUSH』部を押しながら、
- (2)矢印方向に引いてください。

2 乾電池を入れます。

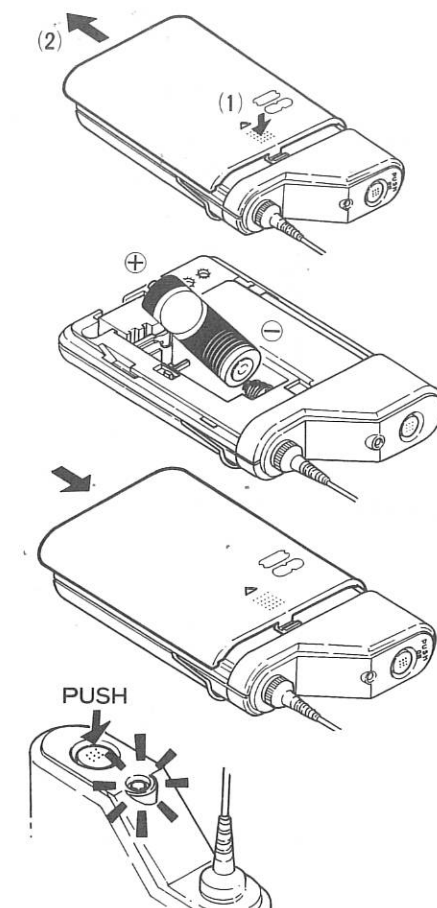
単三乾電池1個を電池収納部の⊕⊖の表示どおりに入れてください。

3 電池ケースのふたを元通りにします。

乾電池をしっかり納めたら、電池ケースのふたを矢印方向に押してください。

4 乾電池の確認をします。

乾電池収納後、電源スイッチを「ON」にしたとき、電源表示灯が点灯すれば動作OKです。
電源表示灯が遅い点滅をした場合、乾電池が消耗していますので、早めに新品の乾電池と交換してください。
また、電源表示灯が点滅しない場合も新品の乾電池と交換してください。



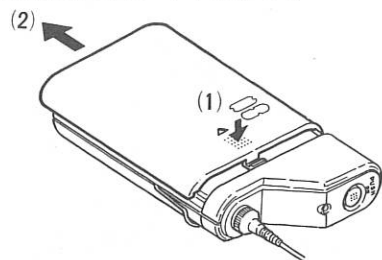
充電式としてご使用になる場合

充電式としてご使用になる場合は、必ず専用充電電池パックWRP-8000(別売)、ワイヤレスマイク用充電器WP-8002(別売)を使用してください。

※必ず電源スイッチを切ってください。

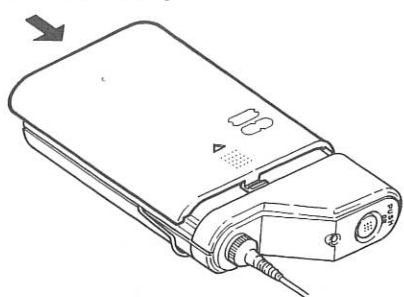
①電池ケースのふたを開きます。

- (1)電池ケースの『PUSH』部を押しながら、
- (2)矢印方向に引いてください。



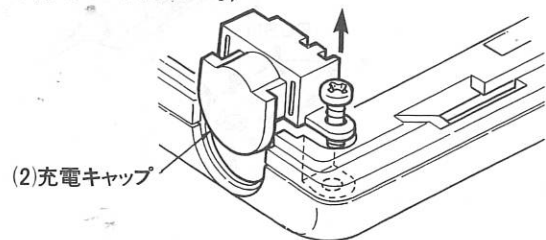
⑤電池ケースのふたを元通りにします。

- 乾電池をしっかりと納めたら、電池ケースのふたを矢印方向に押ししてください。



②充電キャップの取り外し

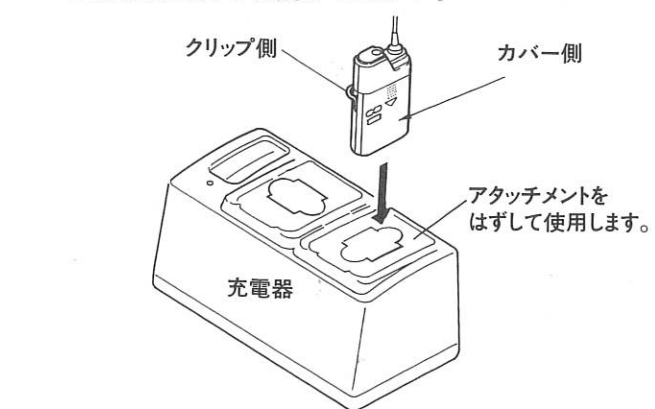
- (1)充電キャップを固定しているねじ(1本)をはずし、
 - (2)充電キャップを外します。
- (電池方式に再び戻す場合は、充電キャップを取り付けてください。)



⑥ワイヤレスマイク用充電器WP-8002を準備し、ワイヤレスマイクの充電部を下にして充電器のワイヤレスマイク差し込み口に入れてください。(クリップの方向に注意)

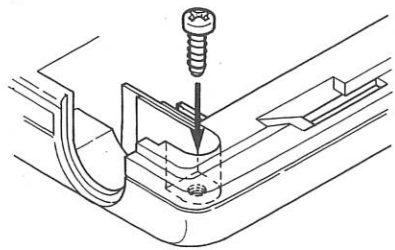
約5時間で充電が完了し充電完了表示灯(緑)が点灯します。(充電途中でワイヤレスマイクを差し込み直すと、最初から充電を開始し、過充電になりますので、ご注意ください。)

※詳しくは充電器WP-8002、充電電池パックWRP-8000の取扱説明書をお読みください。



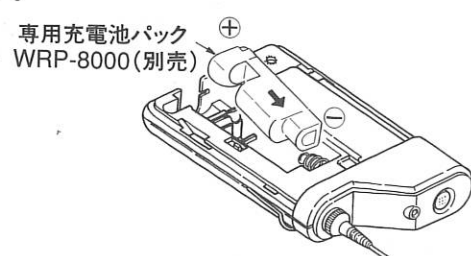
③本体ねじ止め

- ②ではずしたねじ(1本)を使用して、本体をねじ止めます。



④充電電池パックの取り付け

- 専用充電電池パックWRP-8000を本体のスプリング端子側(⊖端子)に押しつけながら、⊕端子側に差し込みます。



●充電はできる限りワイヤレスマイクの電源表示灯が点滅してから行ってください。点滅前の充電を繰り返すと、ワイヤレスマイクの使用時間が短くなる場合があります。(充電電池パックのメモリー効果)メモリー効果が発生したら、ワイヤレスマイクの電源表示灯が点滅するまで使用してから充電してください。

■充電時のご注意

- 初めて使用する場合や、長い間(1ヵ月以上)使用していなかった場合は、必ず充電を行ってから使用してください。
- 電源表示灯が点灯していても、電池が放電しきる直前に、電波の到達距離が短くなる場合があります。そのような場合は、早めに充電を行ってください。

■充電電池パックWRP-8000の交換

- 内部に使用している電池の充放電回数は、約500回です。これ以上の回数を過ぎた場合や電池が古くなってくると、充放電効率が大幅に低下します。早めに充電電池パックWRP-8000の交換を行ってください。

定格・付属品

■定格

送信周波数 (0.125MHz間隔、30波)							識別信号	2値FSK変調	
周波数 (MHz)	グループ(下2桁目)・チャンネル(下1桁目)						7波使用例	トーン信号	電波形式
	1グループ	2グループ	3グループ	4グループ	5グループ	6グループ			
806.125	B11						B71	発振方式	水晶制御PLLシンセサイザー方式
806.250		B21						変調方式	リアクタンス変調方式
806.375	B12						B72	空中線電力	2mW
806.500		B22						変調感度	±5KHzFM(90dB SPL 1KHzにて)
806.625			B31					使用マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサマイクロホン
806.750				B41				周波数特性	100Hz~10kHz(1kHz基準50μエンファシス)
806.875			B32				B73	最大入力音圧	116dB SPL
807.000		B23						入力等価雑音	40dB SPL以下(Aカーブ)
807.125	B13							使用電池	単3乾電池 R6 P(NB)×1個1.5Vまたは専用充電電池パックWRP-8000(別売品)×1個
807.250					B61			消費電流	約70mA(1.5Vにて)
807.375			B33					電池寿命	約10時間(単3乾電池R6 P(NB)使用、常温25℃連続使用にて)
807.500				B42			B74	周囲温度	0℃~+40℃
807.625					B51			寸法	本体: 63(幅)×100(長さ)×23.5(厚さ)mm マイク部: φ14(径)×25.5(長さ)mm マイク、本体間線長: 約70cm
807.750	B14							質量(重量)	約120g(電池含む)
807.875		B24						仕上げ	ダークブルーメタリック調樹脂仕上げ マンセル2.5PB2/2近似色
808.000			B43						
808.125					B52				
808.250		B34							
808.375					B53				
808.500	B25						B75		
808.625			B35						
808.750						B54			
808.875		B26							
809.000	B15								
809.125					B44				
809.250			B36						
809.375				B45			B76		
809.500	B16								
809.625						B55			
809.750				B46			B77		

■付属品

単3乾電池.....	ネックホルダマイクホルダ.....
マイクホルダ.....	チャンネル設定用小型ドライバー.....
マイククリップ.....	チャンネル表示ラベル.....
ネックホルダ本体.....	ウインドスクリーン.....

アフターサービスについて

1. 保証書 (別に添付してあります。)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間……お買い上げ日から、電子回路部1ヶ年、(外装部)6ヶ月

2. 修理を依頼されるとき

取扱説明書をもう一度ご覧いただき、なお異常のあるときは、必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。保証書の記載内容により、販売店が修理をさせていただきます。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。

ご連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・お買い上げ日(保証書をご覧ください。)
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日

●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

3. アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店にお問い合わせください。